

すのか、出産時の環境ストレスとの関係性を研究していたんだ。

赤ちゃんが生まれてくるタイミング、お母さんとの関係ができ上がるまでの話、母性のスイッチが入る話、赤ちゃんの心が始まるときにお母さんが横にいるのが大事ということをいろいろ教えて下さって、すごく共鳴、共感、意気投合したのね。もうこれだ！！みたいな(笑)



その先生の影響で、お産がとても大事なものと分かり、やりたくて産婦人科医になり、長年従事していた。ただ、今回は僕一人体制での開業では実現出来なかったけれど…。

でもね、妊婦さんでも日々の体調を整えたり、出産に向けて或いは出産時、出産後に特に気を付けた方が良いことを、今までの経験や実績でいくらでもアドバイスはできますよ。

### 「うんうん」

今回うちはコンセプトとして「内診台を置かない形」にしたので、いわゆる婦人科的なきちんとした診察は出来ないのね。

では、何ができるのか、何を目指しているのかというと…

・どこへ行っても改善しない人たちの駆け込み寺的な立ち位置を目指したい。実際、何をやっても体調がよくなる人は多い。いわゆる更年期障害の方とかね。

先日「ありとあらゆる診察・検査を受けてきたけれど、どうにも良くなるらない」という方があってね。

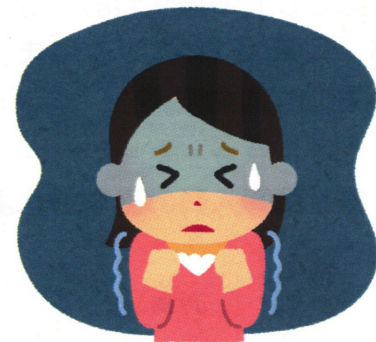
色々お話聞いているうちに、これは漢方的には「血虚」(けっきょ)があるんだろうな、と見立てて「血虚って、〇〇という症状あることが多いのだけれど、ありますか？こういうことはどうです？」って訊いたらドンピシャだった。

あー、今までの先生は漢方の理屈で診るってことはやっておられなかったのか…、一般的な先生はそうだよなあ…と思った。

こういう医者をつらつらとしてどこに行ってもパツとしない、おまけに他のクリニックだと先生や看護師さんが忙しそうで相談するのも遠慮してしまう…。そういう方がウチに来ていただいたら、楽になってもらえると思います。

・もう一つは、**婦人科の診察に抵抗がある若い女性**。生理痛・生理不順などで体調不安がある場合、本当は医師の診断を受けた方がいい。

ただ他の診療科と違って産婦人科は、内診台に上らされるイメージがあって「不安で怖い」というのは一般の女性には強い。実際には受診が遅れたせいで手遅れになる女性もいる。



具体的には、以前「月経不順」ということで近くの婦人科でホルモン剤を処方されていた、っていう若い方を診察したことがあってね。